

学校運営協議会&地域・園・学校・地域活動協働本部会議を開催

3月2日(木)、坂祝町中央公民館にて今年度3回目の協働本部会議が開催されました。運営協議会では、小中学校の校長先生から今年度の学校経営に対する成果と課題についての説明がありました。

また、園・小中連携として、来年度は、青少年育成協議会と一緒に地域ぐるみの挨拶運動の展開をしていけるとよいという話し合いがされました。



CS
新聞

運営協議会後には、地域・園・学校協働本部が開催されました。全からだ会の中で事務局からは、2月に実施した『コミュニティ・スクールに関するアンケート』の結果報告がありました。

分科会では、3つの委員会がそれぞれの課題や来年度の方向性について話し合いました。

今回は、岐阜大学の益川浩一先生が来町されてご指導を賜りました。その中で、「どんなふうに子どもたちを育てていくか、地域と保護者、学校が願いを共有すること」の大切さなどについて話をされました。



CS委員・学校ボランティアさん方が小中学校の授業を見学

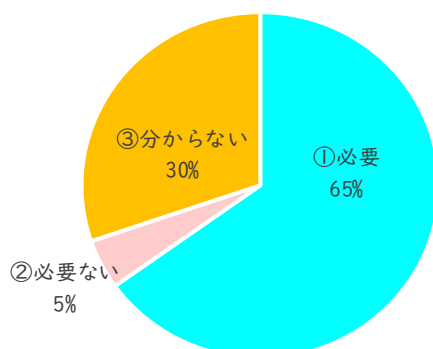
3月2日(木)、コミュニティ・スクールの委員をはじめ地域の協力者などの関係者が、坂祝小学校・中学校の午前の授業を見学されました。

コロナ禍でなかなか参観ができませんでしたが、たくさんの参観が得られ、子どもたちの元気な様子を見ていただけました。中学校では通常の授業の様子が参観できました。小学校では、「ありがとう集会」が開催されました。コロナ対策として体育館に集まった6年生に下級生が各教室からオンラインでお礼の言葉を発信していました。心温まる交流がされました。

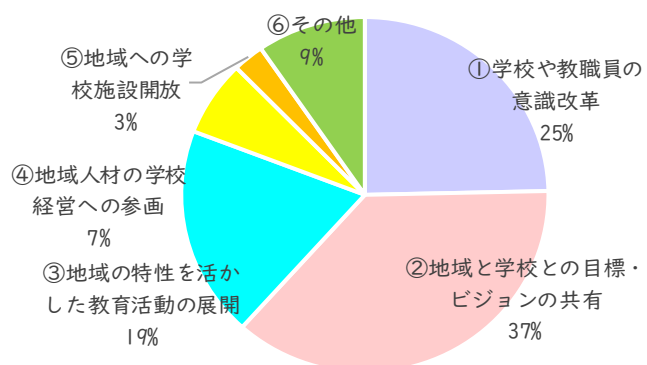
■CSアンケート結果 I

坂祝町でコミュニティ・スクールが設置されてから来年度で5年目を迎えます。これまでの取り組みなどを振り返るため、CS委員・小中学校教職員・教育委員会事務局職員を対象に意識調査を実施しました。

◎学校において、CS活動は必要だと思いますか？（教職員のみ）



◎CS活動を活性化させるためには、何が必要だと思いますか？（全員）



■CSアンケート結果 II（自由記述から）

-2

<CS委員>

- ・幼・小・中・教育委員会が坂祝町の子をどのように育てていこうとしているのかがよく分からない。めざす子ども像を地域の人とも共有した上で活動したい。小・中のあいさつ活動を町内全体で「あいさつ月間」として町民も一緒にあいさつを心がける活動をしてはどうか？

<学校教職員>

- ・坂祝はとても学校に協力的な方が多いので、お互いに情報など交流できたらうれしいです。
- ・各担任の直の声も聴く場を設けてはいかがでしょうか？CSとのつながりを持つ（顔と名前が一致する）ことが大切だと思います。
- ・学校の施設を開放して、地域の人たちが学校を身近に感じられるようにする。学校にいつ見に来てもいい。お手伝いもしてくれるというのが理想ですが、それはゆっくり進めたその先だと思う。
- ・CSをやるなら一部の教員だけの参加ではなく、幼・小・中の全職員で取り組む。そうでなければやらない。

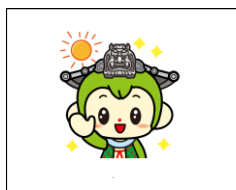
<事務局職員>

- ・専門委員会メンバーに若者委員の参加。中学校では生徒会長、小学校は児童会長が専門委員会メンバーに入ること、子どもからの発信がしやすくなる。
- ・協働本部のメンバーに実際に活動されている団体のリーダーに多く入っていただけると今後の取り組みたい内容や問題点が具体的に提示され、今後の内容が具体化されるのではないかと。学校・地域・PTAと一緒にそれぞれの立場で関われる活動を考えていきたいです。

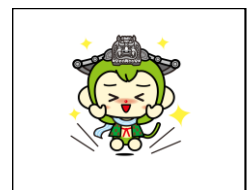
★CSの合言葉決定★

CSでは、学校や保護者だけでなく、地域も一緒に子どもたちの健やかな育成を願っています。CSでは、5年前に「育もう 未来の芽と郷土愛 ～地域の中に園・学校を 園・学校の中に地域を～」というスローガンのもと郷土愛を地域の方々が子どもたちと関わって育てています。今回、子どもたちもわかりやすい合言葉をCS委員の方から募集し下記のように決まりました。

学校や保護者、地域の活動の中でも活用していきたいと思います。



だいすき！SAKAHOGI



（言葉に込めた思い）

- ・「だいすき」は園児、小学校の子どもたちでも読めてなじめる言葉に。
- ・SAKAHOGI は多文化で外国人児童生徒にも共有できる表記に。
- ・地域を大好きになってほしいという意味をシンプルに表現。
- ・「だいすき」の後の！を入れることで、より好きになってほしいという強い意味を込めた。

～発行元～ 坂祝町教育委員会CS事務局